

Wri Newsletter 21

1976年10月29日発行 大阪市阿倍野区旭町2-12-2 ラリ大阪気付WRI-JAPAN

事務所から仲間へ

★ 11月2日への招待 午後6時から

― 天皇と天皇制を考える ティーチン―
ことしのたしから月ごろ、桑田博さんに会った時のこと。

東京で天皇制講座というのをやっていて、そこに桑田さんが講師で選ばれていったんだそう。そこで何を話されたのかは聞かなかったけど、講座に来ていた学生が、「どうもぼくは天皇制とかいっても実感が無い」といったらしい。

桑田さんは、「少くとも天皇制講座に来るような人間が、実感をもてないなどと、へい然というるということは、どういふことかと、とても憤がしいていた。

桑田さんは、もう十何年も国士館斗争をやり続けている人で、右翼からも何回となくおそわれたりして、天皇制に対しては、うらみこつづいというか、なまはかなものではないだけに、その学生のことばにっかりされたと思ふのだが―

実は、その時、私も「実感」といわれてもピンとこなかったのだ。だもんで、

「私も、やっぱり実感ににくい。それに私は『実感ににくい』というのが、まさに天皇制の天皇制たる問題なのだと思うのだけど……」といった。そして―

「一般的にはまさにそうだ。それでいいかもしれない。しかし運動をやっているものが実感をもたないで、どうやって運動をするのか。実感のない運動などインチキだ。今は昔のような弾圧がないから、天皇や天皇制といってもピンとこないというが、金子文子時代だって、ふつうに生活しているぶんには、やっぱり天皇制なんてのはピンとこなかったのだ。一部の実感のある人が何かをやるうとして弾圧をうけたのであって、世間一般の人たちにとっては、ぜんぜん関係のないことなのだ。そういう状況というのは、昔も今も全く変わっていない―」

この桑田さんとの話以来、にわかに「天皇制」と「実感」とが気になり、私は「実感する」ということについて、ずっとしつこくにこだわるようになった。そして天皇制ということについて、たぶんはじめ、まじめに考えてみるこれがきっかけになったわけである。

△WRIの仲間への合言葉△を通信では必ず……

(つづきへ)

ところで、この天皇制という構造のなかで、ひかく的あんのんと暮らしている自分の位置からは、それを実感するというのは、やはりなかなか出来にくい。かと思つてこんなのは、ノイローゼ的に右を向いても左を向いてもみんな天皇制にみえてきたりもする。というのが、このごろの私である。さて、

11月2日は、世直し大学校と、反ミンコン・WRの共催で、「女と天皇制」「男と天皇制」になぜ天皇制が問題なのか、「ロッキードと天皇制」という題で、はじめ四人の仲間が話のきつかけをだして、それぞれ自分の位置から見える天皇・天皇制について話したいと考えてみることにしています。あなたも参加を!! (ふ)



とき PM 6:00~9:00
ところ 大阪労働会館

④ フリー号そのご・ナオミと日本人の乗組浪田良徳さんから手紙―上海を追放されて台風にあい船底からの浸水がとまらず、マカオでドック入り。エンジンもデンマークから部品をとりよせて交換の結果どうやら動けるようになったところでマカオのビザ期間がきれ10月6日再びホンコンへ。ここで電報回路その他の修理などと航海費用をかせいで、12月にはインドネシア・インドへ向けて航海の計画マカオでもホンコンでも、船の金庫はいつも空っぽ同然、底の見える日はなしという日々ながら、それどころかなくなっているのがこのフリーの不思議さ。いまメンバーはデビット・ナオミ・マーチン・ヘレン・オリエッタの紹介でデンマークからきたフリー・ブ・マカオからル・カス(中国青年)と満願くん。エルザは船を放れてホンコンでアルバイトをしている。ホンコンから数名参加予定。だが続くかどうか。

⑤ 当分の実名は Sailing Ship "FRI" Central Post Office Post Restante Hong Kong カレバをたとえ一千万でも送つてやりたい。嵐志の500円でも1000円でも。それと日本文でも浪田君が伝えてくれるので手紙や絵葉書を送つてやるとよろこぶでしょう。⑥ へく米島訴訟へ ニュース1号が刊行された。それを見るとWRの仲の名が30人ものつていて、輝樹人として大感激。存・ふう・るり子はん三人のへある日のWR工務所での会話へへく米島から帰つての録音実況などのつてくる。一部送共百円。ニュース1号がでて、これからつく遠く長くひよつとしたら際限のない肉のや一歩がはじまつたーと決意のようなおもいで、それをおもう。⑦ 23・24日・金沢へいった。奈良のYさんを加えて、てい談をテープにとつた。近々9時向。うまくまとまれば双号直権行動にその一部をのせるのが目的。25・26日は名古屋……⑧ 同封印刷物にも目通しを。! (三)